
外界浸透毒による四肢、五体、思考の感染と崩壊。

嘩月ーka「d/z」ukiー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

外界浸透毒による四肢、五体、思考の感染と崩壊。

【Nコード】

N7074K

【作者名】

嘩月ーk a「d／z」u k iー

【あらすじ】

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

騒がしい街中。
流される俺がいる。
外殻立派、上部からの圧力に弱く情けない。
際限無くイラつくんだ。
だから……（先は見えない）

野良猫路地裏
侵食される日々
毎日のように聞こえる
その度に存在を消す
瞳に映したくない
映されたくも無い（両方から）

その漁り貪る生を受けた（自業自得による）私
空が埋もれていく
仄暗い住家にて 静かに荒く息継ぐ
傍観で済まず
傍観行為者『未』

—上記による思考—
拾った手日記
汚れ、が読めない理由
所々開けない
下記は心に残ったもの
他は同じようなもののため割愛する

内容自失。

精神毒跋扈による自発的自我の破壊。

屠る闇に滲む 滲む。

顔は恍惚でした。

私を感じる。

私を感じる。

私ではないのを感じる……（先は繰り返されている）

字は明らかになっている

初めの整ったものではない

彼（男性？）には恐怖する

理由は手日記による汚れから

猫（気質）の私

狡賢い為（臆病） 手日記を手放す事にした

結果的に誰彼を救えばいい

彼は汚れをまだ纏うのか

私は仄暗い狂気の混じる路地裏へ帰って行った
名前入りの手日記を托して（落として）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7074k/>

外界浸透毒による四肢、五体、思考の感染と崩壊。

2010年10月21日21時04分発行